



謹賀新年



新年のごあいさつ

白老町町内会連合会 会長 桑田 正博

白老町町内会連合会は99町内会全ての協力によって成り立っています。そして次の3つの理念に基づいて活動しています。

- ① 地縁で結ばれた私たちは、みんな仲間の向上を
- ② 一人ひとりにできる住民力で私たちの住環境の向上を
- ③ 住んで良かったと心から思える町内会をみんなの手で

課題はありますが、互いに協力し知恵を出し合いみんなの力で町内会活動に取り組んで行きたいと思っています。

本年も皆様方がご健勝で力を発揮出来ますよう心よりお祈り申し上げます。

明けましておめでとうございます。心新たに、希望を抱いて、新年を迎えられたことと存じます。

昨年の各町内会活動を振り返って見ますと、コロナ禍を乗り越え、以前の様な活気が感じられるようになってきました。

町内会連合会におきましても、計画された先進地視察研修会など多くの事業が実施できたことは皆様方のご協力の賜と感謝申し上げます。

様々な事業を展開していく中で、少子高齢化が町内会活動に与える影響が大きくなってきています。これからは町内会活動が、より地域福祉を支える取組みへとシフトしていくことが求められています。

また、今生活している地域で、安心安全を継続するため、防災時の相互扶助や避難行動など「地域の連携」を深めて、支えていくのが町内会の働きであると思います。



雑巾づくり・保育園へ寄贈

10月20日、萩野生活館で女性部会員21名が参加し、今年も恒例の雑巾づくりが行われました。

自宅で作業した会員もありました。



11月10日、女性部が作った雑巾を100枚大塩町長へお渡しし、その後、町内5つの保育園・認定こども園をまわって直接届けました。子どもたちを思う気持ちが形になった、やさしい寄贈活動となりました。



女性部視察研修

11月14日、女性部視察研修を行い、13名が参加しました。

しらおい食育防災センターでは、中学生向け給食の試食を通じて調理の流れや食育の取り組みを学びました。

また7月のカムチャッカ半島地震による津波警報の際、センターがどのように対応したのか、センター長から詳しい説明がありました。



午後はウポポイを訪れ、白老アイヌ協会公式ガイド岡田路明氏から展示や文化の背景について丁寧な案内を受けました。

町民パスポートに更新・取得手続きも行われ、充実した研修となりました。

